



Vol. 20 No. 2  
2008. 3

# カタリナ ひろば

聖カタリナ大学  
聖カタリナ大学短期大学部

サークル「MEG」のみなさん



---

# ALBERT CARPENTIER RELIGIOUS ART GALLERY オープン

---



2008年1月30日(火)に「アルベルト・カルペンティール宗教画ギャラリー」のオープンセレモニーがカルペンティール師ご臨席の上行われました。

ホビノ・サンミゲル学長とカルペンティール師との深い友情により、師より教育環境整備に役立つならと、既に一昨年に油絵の大作3点を、聖カタリナーホールに掛額しておりますが、今回更に版画・水彩画・挿絵等約270点をいただき、3号棟2階東端に「ALBERT CARPENTIER RELIGIOUS ART GALLERY」を開設いたしました。

アルベルト・カルペンティール師は、1918年9月ベルギー・アントワープ生まれの89歳、1931年からずっと絵の勉強をされ、油絵、ステンドグラス、版画、水彩画等多くの作品を残されております。1937年に聖ドミニコ会に入会し、1949年宣教師として来日されておりますが、日本に限らず世界中の多くの教会の壁画やステンドグラス等の作品があり(この敷地内の修道会聖堂にも師の壁画があります)、世界的に著名な宗教画家です。その作品は直接間接に聖書物語の内容を表しており、「創世記」「雅歌」「キリストの生涯」「黙示録」などを題材にしており、本学においても宗教教育、心の教育に大変役立つものと思います。

師は「芸術によって自己を表現出来ると云うことは、作品の中に、自己の魂と肉体、過去と現在、歓喜と苦悩、信仰と希望を結びつけ、歴史と時代に深く関与している人間こそが出来得るものだと思う。」と語っておられます。

このような師の力作を一同に展示したギャラリーは、本学のこのギャラリーが唯一ではないかと思ひます。多数の作品をいただきながら、一度に全作品を展示できないのが残念ですが、順次作品を入れ替えて展示してゆきたいと考えており、また本学にとっては貴重な財産ですので、将来は美術館が建設できればと夢見ているところです。

師の絵は、太い線で明確に描かれていて、色使いは明るく、訴えるものがあります。ご覧になる多くの方が、絵の前で胸を打たれ、言葉に言い表し難い感動を覚ることだと思ひます。

大学ではぜひ多くの人々に鑑賞していただきたいと思ひ、一般に公開することにいたしました。鑑賞ご希望の方は、休日を除く平日の午前10時から午後4時までの間に総務課へお申し出下さい。(文責：事務局長 中本 賀崇)





アルベルト・カルペンティール師



ギャラリーの完成を祝してテープカットが行われました

完成祝賀会にて「多くの人に作品を見てもらえる環境ができてうれしい」とのお言葉がありました



アルベルト・カルペンティール宗教画ギャラリーを、平日（職員勤務日）の10:00～16:00に一般公開いたします。

なお夏季休業中など平日でも職員が勤務していない場合がございますので、鑑賞をご希望の方は、事前にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ】 聖カタリナ大学 総務課  
電話：(089)993-0702

## 学長表彰が行われました

12月20日(木)に開催された2007年度学内クリスマスにて、学長表彰が行われました。今回の受賞者は以下の皆さんです。(敬称略)



### [スポーツ表彰]

#### ●剣道部に所属し数々の大会で活躍

林 映里 (社4)	志賀 真央 (社4)
田村 有惟 (社4)	関 涼子 (社4)
奥田 美香 (社3)	小窪 睦 (社3)
皿田 仁美 (社2)	見浦 芳 (社2)
荒木 さやか (社2)	木村 純子 (社2)
宮武 唯 (保2)	恩田 矩美 (社1)
迫 美由紀 (社1)	

#### ●四国インカレ水泳競技100・200m自由形1位

石井 愛 (社1)

#### ●ダンス部での功績を高く評価

古川 晃 (社4)

### [ボランティア表彰]

#### ●サークル「轍の会」でバリアフリーの啓発活動に貢献

宮内 大輝 (社4)	越智 悠介 (社4)
濱田 陽介 (社4)	安岡 真悟 (社4)
松本 康弘 (社4)	石川 博計 (経4)
越智田 竜経 (経4)	

#### ●サークル「Hand-Hand」での寄附活動などを評価

大宮 和也 (社4)	大政 敏朗 (経4)
堀川 友美恵 (保2)	古川 佳菜 (健2)

#### ●学生ボランティアセンターのメンバーとして、ボランティアの啓発に貢献

村上 祐太 (社4)	小倉 千幸 (社4)
藤原 靖子 (社4)	藤澤 若葉 (社4)
矢野 雄大 (社4)	西蔭 朋恵 (社4)
福崎 仁美 (社4)	森棟 万友 (社4)

### [文化活動表彰]

#### ●大学祭実行委員長として活躍

佐々木 龍之 (経3)

#### ●サークル「トトロ」での新聞発行などの活動を評価

岡本 信雄 (社4)	大野 洋史 (社4)
田野 陽子 (社4)	石山 輝 (社4)
今城 和寿 (社4)	高橋 一司 (社4)
武智 加良子 (社4)	土居 拓也 (社4)
脇谷 咲 (社4)	富尾 知沙 (介4)
濱本 安衣 (介4)	荻山 夏樹 (経4)

#### ●「シニアカーの開発研究」に取り組みユニバーサルデザインの普及啓発に貢献

武内 康明 (社4)	西村 友里 (社4)
川西 洋平 (社3)	村尾 智幸 (介3)
吉田 認 (経3)	飛田 美夏 (社2)

## 「第9回学生による政策論文」でアイデア賞を受賞



アイデア賞を受賞したのは社会福祉学部3年生の木原紗知さん、菅 麻美さん、木里 緑さん、岩木郷子さん、三瀬若奈さんの5人のグループです。受賞論文のタイトルは『ポイント貯めて Let's Special 高級料理 ～おいしい料理で長生きしてね』。“高級福祉食”をキーワードに、高齢者が食べやすく美味い料理を提供するレストランを運営しようという企画です。

「学生による政策論文」は、松山市が“日本一のまちづくり”に取り組むうえで、全国の学生からまちづくりに関するアイデアや意見を募集し、実現可能なものはその提案や趣旨を市政に反映させようというものです。今年度は過去最高の207点の応募があり、11月6日(火)の第一次審査会で上位15点が選ばれました。11月30日(金)に松山城ロープウェイ駅舎2階にて、公開プレゼンテーション方式の第二次審査が行われました。

左の写真を撮影した際には、「プレゼンに使用するパワーポイントの作成が大変だった」

「公開プレゼンなので一般の視聴者もいてすごく緊張した」「審査員の質問が厳しくてかなり焦った」「審査終了後に福祉行政の担当の方が声をかけてくれてとともうれしかった」と第二次審査の様子を楽しそうに話してくれました。

12月26日(水)に松山市役所本館で表彰式が行われ、中村時広松山市長より表彰状と記念盾を受け取りました。

## アイスダンスで大学日本一に！！

1月6日～9日に北海道・苫小牧市で行われた、第80回日本学生氷上選手権大会アイスダンス競技で、社会福祉学部3年生の竹井達也さんが、妹の杏奈さん（松山大1年）とペアで出場し、見事に愛媛県勢初の大学日本一に輝きました。

アイスダンスはフィギュアスケート競技のひとつで、「氷上の社交ダンス」とも呼ばれます。男女のペアが音楽に合わせてステップワークやリフトなどを行い得点を競いあいます。

達也さんは8歳の頃からスケートを始め、フィギュアのシングルで活躍をしていましたが、妹の杏奈さんの高校卒業を機にペアを組んだそうです。現在は本学の「フィギュアスケート愛好会」の部長を務めながら、日々の練習に取り組んでいます。今後の更なる活躍を期待します。



## Topics

### 公開講座「シルクロードの遊牧民」



[12月1日(土)]

聖カタリナ大学人間文化研究所では、今年度の研究テーマ「文化と交流」にちなみ、松原正毅氏（坂の上の雲ミュージアム館長）を講師にお迎えして「シルクロードの遊牧民ー東西文化交流の背景ー」と題した公開講座を開催しました。

シルクロードを通じた人類の形成と移動や交流の歴史、また遊牧の起源・歴史などを、スライドを使いながら分かりやすく解説していただきました。

### UDシニアカー開発研究発表会



[1月11日(金)]

UDに配慮したシニアカー開発研究グループによる研究発表会が行われました。

この研究は愛媛県工業技術センターが主体となり、メーカーの株式会社アテックスと本学学生グループが共同で、「いきがい交流センターしみず」の方々や、本学で開催された「まつやまシニアカレッジ」参加者によるモニタリングを繰り返しながら、ユーザビリティに配慮したシニアカー開発を行ったものです。

機能別に配色され見やすい操作パネルや、駐車の際に微調整が可能な超低速機能の採用など、研究成果を反映して完成したシニアカーは、昨年5月に株式会社アテックスより発売、その性能を評価され松山城登山口でも観光客用の活用を検討されています。

### 学内合同企業説明会



[1月11日(金)]

大学、短期大学部の平成21年3月卒業予定者を対象に、就職課主催の学内合同企業説明会を開催しました。

愛媛労働局、株式会社損保ジャパン、株式会社トヨタレンタリース西四国、松山ヤクルト販売株式会社の担当者をお招きし、それぞれの仕事の内容や社会人としての心構え、また採用情報や採用試験の内容などについても話していただきました。

学内初の合同企業説明会であり参加企業は4社でしたが、学生たちはメモを取りながら真剣に話に聞き入っていました。就職課担当者からは「今後も参加企業を増やし開催していく予定ですので、学生の皆さんの積極的な参加を期待しています」とのコメントがありました。



健康栄養学科長・教授  
遠藤 章二

### 御伽噺：この星で竜宮城を視た！？

1975年10月10日、この日は以前体育の日と呼ぶ祝日であった。一人の青年！？（筆者）が、この聖カタリナ（星）に出現した。と言っても決して格好良く現れたわけではない。友人4名と軽トラック1台でこの星に到着したのだ。早い話が、大学生の下宿の引っ越しそのものであった。この日を境にアワ（阿波）星人であった筆者がまったく違った人生を過ごすことになったのである。当初はこの星へは不時着のつもりであったものの、ある日気がついたら既に30有余年を経過していた。この星を去る日が近い今日この頃、高齢になった昔青年の“よもだ話”、この星での人生の一端を聞いてください。

お話の切っ掛けに、どなたもご存知の「浦島太郎の竜宮城」をなぞりました。私に「助けた亀」はいないのですが、この星はまこと竜宮城そのものでありました。昨年1月に亡くなられた上妻久恵理事長をはじめ教職員の皆様には失礼をお許しただいて乙姫様と鯛やひらめ様でございます。この星の住人の皆様は、この我儘な若輩者をわがことのように育て、支えてくださったのです。

その優しさに甘えて気がつけば繰り返しますが、何と30年の年月が過ぎていました。竜宮城ではありませんが、当初は毎日の晩ご飯に困りました。生まれたアワ星に居たときは母親が帰りの遅い息子のために食事を用意してくれましたのですから。当時この星ではレストラン、食堂の類はわずかです。致し方なく、近所の配達弁当屋のご飯で我慢していたのですが、冷たく、淋しゅうございました。電子レンジなどまだ庶民の家電ではない時代でした。だがうれしいことに、昼ご飯は食物学科（当時）の学生実習の温かい手料理で栄養とささやかな愛がしばらくまかなえたのでありました。この寂しくて貧弱な食生活が1日でも早く独身とおさらばし、愛する媛をもらいたいと決断した最大の理由とも言えるのでした。いかに竜宮城といえども海の中です。

一方、本業の講義は大変でした。ほんの昨日まで大学院生だった青年が、今日から突如“先生”業に大変身したのですから。元々しゃべるのが極めて不得意です。もっぱら女子学生さんたちに背中を向けたまま黙々と黒板にノートを見なが



1977年当時の筆者と聖カタリナ女子短期大学（卒業アルバムから借用）

ら書くだけがしばらく続いたものです。その姿の証言者の一人に留学生だった聖カタリナ大学の金順姫先生がおいでです。思い出しても恥ずかしいことです。今どきを知っている学生様の方々なら「うそっ！」っておっしゃるでしょうね。

授業は何とか慣れました。生活は栄養失調の日々ながら、近くのアパートでゴキブリと同居していたのですが、どうしても学生時代の恋人的存在“ねずみさん”が忘れられない。そこで旧知の愛媛大学医学部生化学講座の奥田拓道教授の門をたたき、ご援助とご指導を受けることにしました。ところが、この星には当時動物舎はありません。ほとんど物置状態の空き小屋でマウスの肥満実験を始めました。当然冷暖房設備などはありません。それどころか時折、青大将の招かざる客の訪問まで受けながら頑張ったのです。

1977年5月、妻を娶りました。翌年、長男を授かりました。これでこの星の立派な住人の資格を得たのだと自覚しました。途中を省きますが、その後8回ほど住まいを変えたなかで、長男は何とか独り立ちし、現在夫婦二人きりで暮らしています。最近の話題は、近付きつつある老いと向かい合いながら、何

とか若く、美しく、健康をコラボした実り多き「人生の秋」を謳歌する“お年寄（幸齢者と名付けました）”に成りたい。そこのできることから、続けられることからをテーマに連日連夜「肌をすべすべにするには酸性水を付ける」、「血管をサラサラにするにはきな粉を食べたり、アルカリイオン水を飲んだりする」、「頭髪が少なくなってきたからペンタデカンをつけて、頭皮ブラシでマッサージする」、「更年期障害にはイソフラボンだね」、「次はどここの星に住もうか？やはり冬は暖かいところがいいな！沖縄はどうか？」などなどの議論を重ねているのです。

竜宮城に居ながら玉手箱を開けてしまった自称浦島太郎は残念ながら頭髪は真っ白になりましたが、1975年当時の気持ちを忘れないようあとしばらく頑張ります。

さて、これからいよいよ地上に帰らねばなりません。乙姫様と鯛やひらめにしてしまった教職員の皆様にも心から感謝します。数千人の卒業生の皆様にも感謝いたします。ありがとうございました。最後に『この星よ！永久に輝け！』とエールを送り、祈りながら御伽噺を終わらせていただきます。

## ゼミナール インタビュー

### 下田 正 ゼミ



## ソーシャルワークと現代社会に関して幅広く学んでいます

ソーシャルワークの基礎理論と技法に関して、また現代社会における政治、経済、文化、教育、環境、福祉など、幅広い分野に関して、学生の自発性や主体性を重んじながら学びあっています。

#### ●ゼミの特徴を教えてください。

ゼミで扱うテーマを広くしていますので、基本的には学生たちの興味や関心に基づいて演習計画を立てています。そのため、実際には、福祉機器に関するもの、盲導犬に関するもの、地球環境に関するもの、ニートやフリーター問題に関するもの、グローバル経済に関するものと多種多様な発表が行われています。このことから、専門分野であるソーシャルワークに関する研究発表が少ない、演習としての統一的体系性に欠ける、といった見方もできるのですが、実はそうした演習を通して、基本的には、ゼミ生には人間や社会について



の問題意識を持ってもらい、その問題をどのように捉えどのように解決すればいいかについて問題解決型の思考力を高めてもらいたいと思っています。

#### ●ゼミの授業スタイルはどういったものでしょうか？

学生の自発性や主体性と共に、学生間の相互作用を重んじるという考え方から、教員からは演習についての基本的な方向性や枠組みは提示するものの、多くは学生たちによる企画や計画によって自主的に行われています。例えば、今年後期の演習では、学生の司会で、先ず「前座」と称して一般教養的な小テストの実施と解説が約10分程度行われ、その後、パワーポイントやレジユメを使った「研究発表」、更にその発表を巡っての意見交換や議論が行われています。司会、前座、研究発表は、すべて割り当てられた学生が担当します。ゼミ生は、全員、司会の進め方や発表方法なども体験的に学びます。

#### ●今後の活動として実現してみたいことはありますか？

ゼミでは、基本的には幅広い教養と問題解決型の思考力を身に付けてもらいたいと考えています。幸いにも熱心でポテンシャルの高い優秀なゼミ生なので、彼らの力が現実の社会



の問題解決に発揮されるような機会や環境をつくることができると思っています。その具体的な機会の一つが、毎年松山市が行っている学生政策論文募集の機会なのですが、ゼミ生には是非チャレンジしてもらいたいと考えています。自分たちのアイデアや提案が施策化されることは、大変な喜びだと思います。

#### ●どのような学生にゼミに入ってもらいたいですか？

志の高い学生ですね。他の人の利益に繋がる、共益、公益に繋がることをしたい、それを実現するために自発的に主体的に取り組んでいこう、と思っている学生に入ってもらいたいです。

#### ●ゼミ生へのメッセージをお願いします。

将来、ゼミ生の皆さん一人ひとりが、家庭で、職場で、地域で、「〇〇さんがいてくれるおかげで助かっています」と言われるような人になってくれればと思っています。



## 就職活動 レポート



さかうち さやか  
坂内 沙耶佳 さん

短期大学部  
保育学科 2年

#### ◆採用になった職場はどちらですか？

社会福祉法人白鳩会に採用になりました。白鳩会が松山市から運営委託されている松山市立平井保育園で働くことになっています。



#### ◆下田ゼミはこんなゼミです！

下田ゼミは活発明快な女子を中心として、物静かな男たちが集まったゼミです。授業は多種多様な分野からテーマを取り上げ、研究発表やディベートをしています。また就職活動にも力を入れており、毎回授業の始めに一般常識問題やSPI問題をしています。

・・・超真面目なゼミと思われがちですが、授業中は本題から脱線することもしばしばで、教室を飛び出し散歩に行ったりすることもあります。飲み会ではプライベートな相談事や世間話で盛り上がり、親睦を深めています。

(社会福祉学部3年 中川 慎一さん)

## 小さい頃から憧れていた保育士に！

#### ◆その職場を志望した理由を教えてください。

小さい頃から保育士に憧れていて、ぜひ保育士になりたいと思っていました。カタリナに入学して保育の勉強をしていくうちにその思いはもっと強くなり、また2回の保育所実習を通して、保育園に就職したいという思いが強くなりました。

今回就職させていただく園は、職員のみなさんの仲が良く、大変職場環境が整っており、また地域の方々との交流も多いところを魅力に感じ、志望させていただきました。

◆就職活動中の苦労や工夫したことを教えてください。

保育園の見学に行くだけではなく、夕涼み会や運動会などにボランティアとして参加させていただきました。そういったボランティアを通じて、「ぜひこの園に就職させていただきたい」という思いを伝え、積極的に動くようにしました。

また就職試験にあたっては、就職課で面接練習をしていたり、ピアノは当日指定されそうな曲を図書館で調べ、何曲か練習して試験に臨みました。

◆後輩たちへのメッセージをお願いします。

幼稚園や保育園に就職を希望している人は、いろいろな園へ見学に行き、自分にあった園を見つけたら何度も足を運んだほうがいいと思います。「ぜひここに就職したい!」という熱意を伝えてください。

また保育学科の授業は実習が多くて忙しいですが、その一つ一つの実習もただ受けるだけではなく、将来の仕事の予行演習と思って一日一日を大切に組み込んでいってください。

自分にあった良い職場が見つけれられるよう、がんばってください。応援しています。



むらかみ ゆうた  
村上 祐太 さん

社会福祉学部

社会福祉学科 社会福祉専攻 4年

## 児童ボランティアに携わるうちに・・・

◆採用になった職場はどちらですか？

愛媛県職員（児童指導員）です。児童養護施設で入所児童の生活指導などの業務に就く予定です。

◆その職場を志望した理由を教えてください。

直接的には愛媛県の児童指導員の募集を見つけたのがきっかけです。1・2年生のころから多くのボランティア活動に参加していましたが、その中で何回かあった児童関係のボランティアに携わるうちに、子どもたちに関わっていく仕事がしたいという気持ちを強く持つようになっていました。

◆就職活動中の苦労や工夫したことを教えてください。

就職ガイダンスやセミナーなどに積極的に参加するようにしました。さまざまな話を聞いているうちに、自分が本当に就きたい職業や興味のある分野を見極めることができました。

就職試験の願書を出してからは、筆記試験に向けて必死で勉強しました。二次試験の面接には、今まで学生時代にやっ

◆後輩たちへのメッセージをお願いします。

友達、さらに先生方など多くの人との人脈を拓けていって欲しいと思います。自分が作っていった人脈は、卒業後も絶対に活かせます!! 私も多く友達や先生に支えられてきました。本当にありがとうございます。

自分の夢や目標に向かって、時には一休みしながら、突き進んでください。

●卒業を迎える皆さん、おめでとうございます。社会に出てからも、機会があればぜひ大学へ顔を出して、近況を聞かせてください。皆さんの話が、後に続く後輩たちにとっても参考になることと思います。

## サークル紹介 MEG

「友達をたくさんつくっちゃえ！」が  
合い言葉のサークルです。

キャンパスライフを楽しく過ごしたい！そういう目的の人たちが集まっているのが、昨年できた私たちのサークル「Merry Event Great」、略して「MEG（メグ）」です。

スポーツ大会やキャンプ、ボランティア活動など、サークルに入っていない人でも気軽に参加できるイベントを企画・運営して、学生同士や地域の方々との交流を図ることを活動目的としています。もちろん自らが企画したイベントに参加して自分たちが楽しむことも忘れません（というかそれが一番の目的かも？）。まあ簡単に言うと「友達をたくさんつくっちゃえ！」っていう感じのサークルです。



昨年は5月と11月に記念体育館でスポーツ大会を開催し、バレーボールやドッジボールをして大いに盛り上がりました。また8月には施設へボランティアに行ったり、9月には松山市の野外活動センターでキャンプをしたりなど、いろいろな活動を楽しんでいます。

これからも楽しく心に残るようなイベントを開催して、多くの人々と一緒に楽しんでいきたいと思います。イベントを通じてコミュニケーションを学んだり、学校生活だけでは味わえない交流を体験できるサークルにしていきたいですし、また多くの人に聖カタリナ大学の魅力を知ってもらいたいとも思っています。面白そうだな、と思った人はぜひ参加してみてくださいね。

(MEG一同)



## 図書館から 新着DVD紹介

### 『バッテリー 特別版』



2007年 日本映画  
監督 滝田洋二郎 119分

時々学生の皆さんから、「図書館に入っているDVDはどんな基準で選ばれているのですか？」という質問をお受けすることがあります。少し難しいお話になるのですが、大学の図書館は公共の図書館とは違って、まずその大学に置かれている学部や学科の専門に関連する資料を収集する、という第一義の目的があります。ですから、本学図書館の資料で言えば、社会福祉や初等教育、栄養学、調理学といった本学に設置されている学部学科のそれぞれの専門分野の資料は多いかわりに、たとえば、理工学分野の資料は比較的少ない、ということになります。DVDもそうした関連で入っているものがあります。たとえば、手塚治虫やディズニー、宮崎駿の作品が入っているのは、保育学科との関連があるからです。

今日はそんな保育学科の関連で入ったDVDの中から「バッテリー」をご紹介しますと思います。原作はあさのあつこさん。天才ピッチャーの原田巧は中学入学とともに岡山に引っ越してきます。彼はただただ野球をしたいと思っています。ほかのことはまるで興味が無い。そして他人の感情などは自分とは関係がない。確かにそれだけだと生意気なヤツ、ですね。ですが、画面に出てくる彼の表情はそれだけではないようです。やはり心の奥底には、割り切れない、引っかかるものが残っていて……。いろいろな細かなことで揺れる多感な一人の中学生の男の子がいるのだ、と見えてきます。この作品は、努力とか友情と言ったスポーツの話とはまた違った視点から描かれた作品です。児童書の書架には、原作の図書もあります。映画とともに本を読んでみる、ということもおすすめしたいと思います。ご利用をお待ちしています。

(図書課 玉岡 兼治)

## 夏炉冬扇 Karo-Tousen

### 私、最近『ナギナタ』を体験しました。

本当は初めての体験ではありませんでした。昔々に授業で体験していたのです。

今回は愛媛県体育協会の補助事業で、場所も時間も都合でした。かねてより機会があれば、日本の武道を体験してみたいと思っていた事もあり、また指導者が私も授業を受けた、山本キヨヨ先生のお弟子さんで知人の木野先生だという事。私はチャンスとばかりに足を運びました。初めてみますと「サマになってるじゃない！私って素質あるかも」などと単純に思っていたところへ「初めてではないでしょう！草葉の陰で山本先生が泣いているよ！」と激がとびます。足も手も我が物ではないようです。

本でも読んでみようとして、図書館で調べてみると、書庫に2冊の本がありました。こんな古い本でもわかりやすく置いてある事に感心しながら読んでみました。技術の上達はありませんでしたが、背景や規定を知る事ができました。また色々聞いたり、調べたりしていると、愛媛のナギナタ人口は男女、年齢に関係なく相当数いるようです。世界一になった人もいます。10年後に開催される愛媛国体のナギナタは、北条高校でという内定をもらっているようです。これは山本先生、カタリナさんのお陰と深く感謝していると今回の指導者の先生方は言うておられました。

今回の講習は終了しましたが木野先生の背筋ののびた姿勢、「メ〜ン」というよく通る声に魅了されてしまいました。今後ナギナタでなくても日本の武道を一つ習得したいと思っています。そうそう10年後の愛媛国体のおりは北条高校へ、ナギナタの試合を見に足を運びたいと思っています。その時本学の学生さんが出場してくれていたら一生懸命応援するのに・・・などと夢んでいます。

(図書課 豊田 由紀子)



### カタリナひろば

編集・発行  
聖カタリナ大学  
聖カタリナ大学短期大学部  
広報委員会

〒799-2496 松山市北条660  
TEL(089)93-0702(代)  
kouhou@catherine.ac.jp